

6月23日(金) 9:30~11:00 M会場

1. 新型コロナウイルス感染症に対する慢性期病院の取り組み

座長：鈴木龍太(医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院院長)

(1)「慢性期病院での新型コロナウイルス感染症対応の変遷」

鈴木龍太(医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院院長)

(2)「慢性期病院における新型コロナウイルス感染症との闘い」

富家隆樹(医療法人社団富家会富家病院理事長)

(3)「栄養で決まる新型コロナウイルス感染症の予後－慢性期病院におけるコロナ禍の栄養評価と今後の方針－」

中尾 健太郎(イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院院長)

(4)「慢性期病院における新型コロナウイルス感染症に対する特定看護師の関わり」

井口朋子(医療法人社団富家会富家病院看護部長/特定看護師)

(5)「新型コロナウイルス感染拡大防止とりハビリ推進の取り組み」

吉尾雅春(医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院副院長)

6月23日(金) 9:30~11:00 N会場

2. 効果的なタスクシフト/シェア～患者さんへの治療・ケア効果が最大限になるために～

座長：齋藤訓子(関東学院大学看護学部在宅看護学看護学研究科高齢者・在宅看護学教授/日本看護協会副会長)

(1)「当院の医師勤務時間短縮計画－タスクシフトとinterprofessional work－」

丸山路之(済生会横浜市東部病院統括院長補佐)

(2)「ICUでの特定行為実践から見てきた医師とのタスクシェアの展望」

西尾陽子(社会医療法人大雄会総合大雄会病院ICU/HCU看護部長)

(3)「二次救急医療機関の看護管理者として考える、看護の質維持と向上のための現状と今後の課題」

高橋素子(医療法人社団直和会平成石病院副院長兼看護部長)

(4)「臨床工学技士(CE)が医療スタッフをwin-winにする可能性－新しい価値の創造－」

小林剛志(公益社団法人神奈川県臨床工学技士会会長)

6月23日(金) 14:10~15:40 M会場

3. 選ばれる病院の情報発信

座長：上條由美(昭和大学大学院保健医療学研究科医療マネジメント教室教授)

(1)「デジタルマーケティング時代の医療情報発信」

井上 祥(株式会社メディカルノート代表取締役)

(2)「マーケティング発想での病院情報発信」

的場匡亮(昭和大学大学院保健医療学研究科准教授)

(3)「病院や学会広報は誰に何を届けるのか？を考えると見えてくるSNS活用～若者のチャラいツールではない～」

岸 拓弥(国際医療福祉大学大学院医学研究科教授)

6月23日(金) 16:00~17:30 B会場

4. 現場におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の実践と課題

座長：三上容司(横浜労災病院病院長)

(1)「アドバンス・ケア・プランニング概論」

三浦靖彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部部長)

(2)「病院でのACPの実際と在宅での活用につなげるための方策について」

清水幸裕(南砺市民病院院長)

(3)「在宅医療におけるACP」

新田國夫(医療法人社団つくし会新田クリニック院長)

(4)「地域で“暮らす”、そして“生ききる”に伴走する医療～意思決定を支え、ACPを紡ぎ、繋いでいく～」

宇都宮 宏子(在宅ケア移行支援研究所)

6月23日(金) 16:00~17:30 M会場

5. 働き方改革とクリティカルパス～それぞれの立場から～

座長：勝尾信一(特定医療法人千寿会つくし野病院名誉院長)

塩澤実香(社会医療法人財団慈泉会相澤病院看護部主任)

(1)「看護の立場から、そして総合情報システム担当の立場から」

小野律子(大阪警察病院看護部総合情報システム担当師長)

(2)「医師事務作業補助者の立場から」

杉 和洋(国立病院機構熊本医療センター診療部長)